

事業番号	事務事業名	泉山線開設事業費	所管課名	建設課	令和 2 年度課長名	安道 智秋
03860	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係	担当者・シート作成者	牧野 丈夫
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H10 年度～ R4 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	県営林道開設事業に係る、地元調整、用地提供を行なう業務。 ・業務 ①地元調整 ②立木の伐採 ③開設予定地の分筆 ④所有権移転登記 ⑤その他(泉山線進捗率向上検討会)	平成10年度以前から泉山を取り巻く地域の森林施業をより充実したものとするため、広域的な林道として計画されたものである。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 林道泉山線	ア 利用区域面積	ha	見込 実績	1,266 1,266	1,266 1,266	1,266 1,266	1,266	1,266
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 森林施業の利用向上を図る	ア 開設延長	m	目標 実績 達成率	13,600 7,739 56.9%	13,600 9,155 67.3%	13,600 9,870 72.6%	13,600	13,600 72.6%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30 年度	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度
ア 立木伐採	ア 立木伐採	件	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 4 200.0%	2 9 450.0%	2	2 450.0%
イ 地元協議	イ 地元協議	件	目標 実績 達成率	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6 6 100.0%	6	6 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01	款 06	項 02	目 02	大事業	中事業	予算上の事業名	事業番号																						
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	11	01	泉山線開設事業費	03860																						
予算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比	決算(千円)	30 年度 実績	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 見込	4 年度 見込	前年比																	
国庫支出金							国庫支出金																							
県支出金							県支出金																							
町債							町債																							
その他特財							その他特財																							
一般財源	2,800	10,110	8,000	8,000	8,000	-2,110	一般財源	1,834	10,109	5,871	8,000	8,000	-4,238																	
合計	2,800	10,110	8,000	8,000	8,000	-2,110	合計(A)	1,834	10,109	5,871	8,000	8,000	-4,238																	
財源名称	従事正職員人数								1	1	1	1	1																	
	延べ業務事務時間								100	100	100	100	100																	
	人件費計(千円)(B)								338	350	334	335	335	-16																
最終予算額		8,000 千円		予算執行率		73.3%		トータルコスト(A+B)		2,172		10,459		6,205		8,335		8,335		-4,254										
主な支出事業内容(予算)	委託料						6,669 千円						主な支出事業内容(決算)						委託料						4,950 千円					
	借上料						171 千円						借上料						132 千円											
	工事請負費						1,160 千円						工事請負費						789 千円											

事業番号	03860	事務事業名	泉山線開設事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?
木材価格が低迷し、森林所有者の施業意欲の低下、林業所得の減少、林業就業者の減少・高齢化等が悪循環をなして進行している。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
特に無し。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
関係区長及び森林代表者は、工事の進捗率が向上していないため、早期完成を望んでいる。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由説明 林業の振興である森林の整備・環境保全の推進は林道整備を行うことが重要である。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由説明	利用区域内の面積・蓄積が膨大であり、森林の整備・環境保全の推進が必要である。
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由説明	基幹林道であり、県営事業で工事を実施し、町は円滑な工事実施のため、地元との調整等を行っている。
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由説明 基幹林道として、必要最小限のものである。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由説明	林業を取り巻く環境を考慮すると、受益者単独ですべての維持管理を行うことは困難である。
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由説明	これ以上の改善余地はない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明 補助事業としての規格を満たす必要がある。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由説明	町の役割は支障木の伐採、分筆測量等であり、削減できるものではない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由説明 受益地の所有者に最もメリットがあるが、林道開設によって行われる森林施業は森林保全につながり、水源かん養等広い範囲での便益がある。また、受益地の林道は、町へ無償譲渡されるため受益者負担と考えられる。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	森林の整備・環境保全の推進には欠かせない道であり、要望に応じて適正に整備していく必要がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 県、地元等との調整を行いながら事業を実施し、計画的な事業推進を図る。																							
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								